



生活の形態と 女性の社会進出

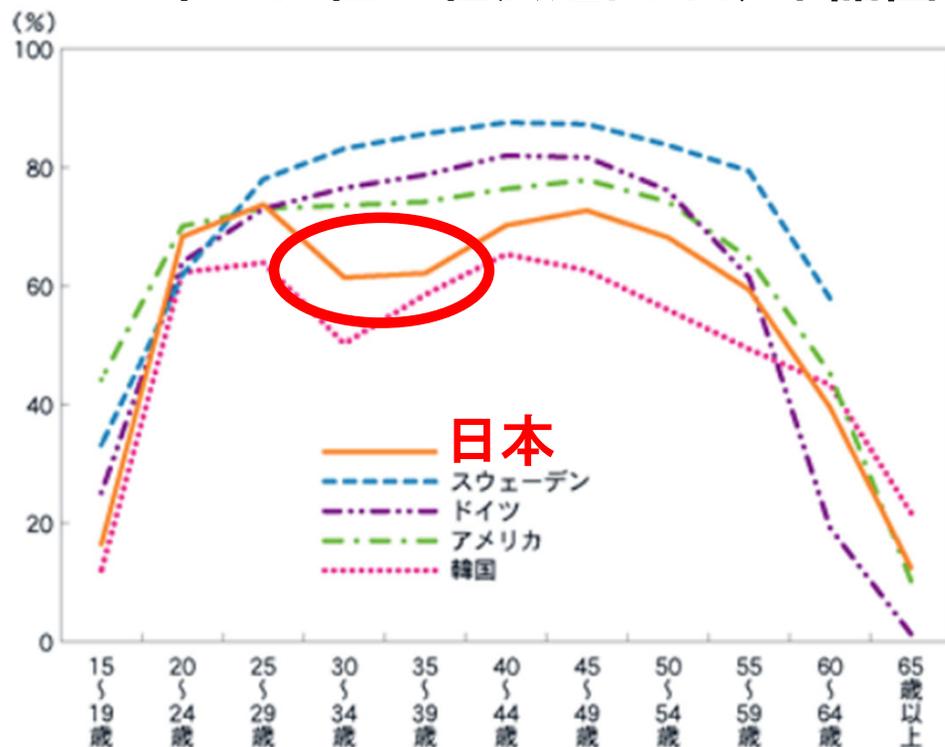
愛知県立岡崎高等学校 3年

杉山 輝恵

Sugiyama Noeru

1. 研究のテーマと目的 -問題意識の背景-

日本の女性の社会進出は欧米諸国に比べて遅れている傾向にある



女性の年齢階級別労働力率の国際比較

「Global Gender Gap Report 2023」
ジェンダー・ギャップ指数

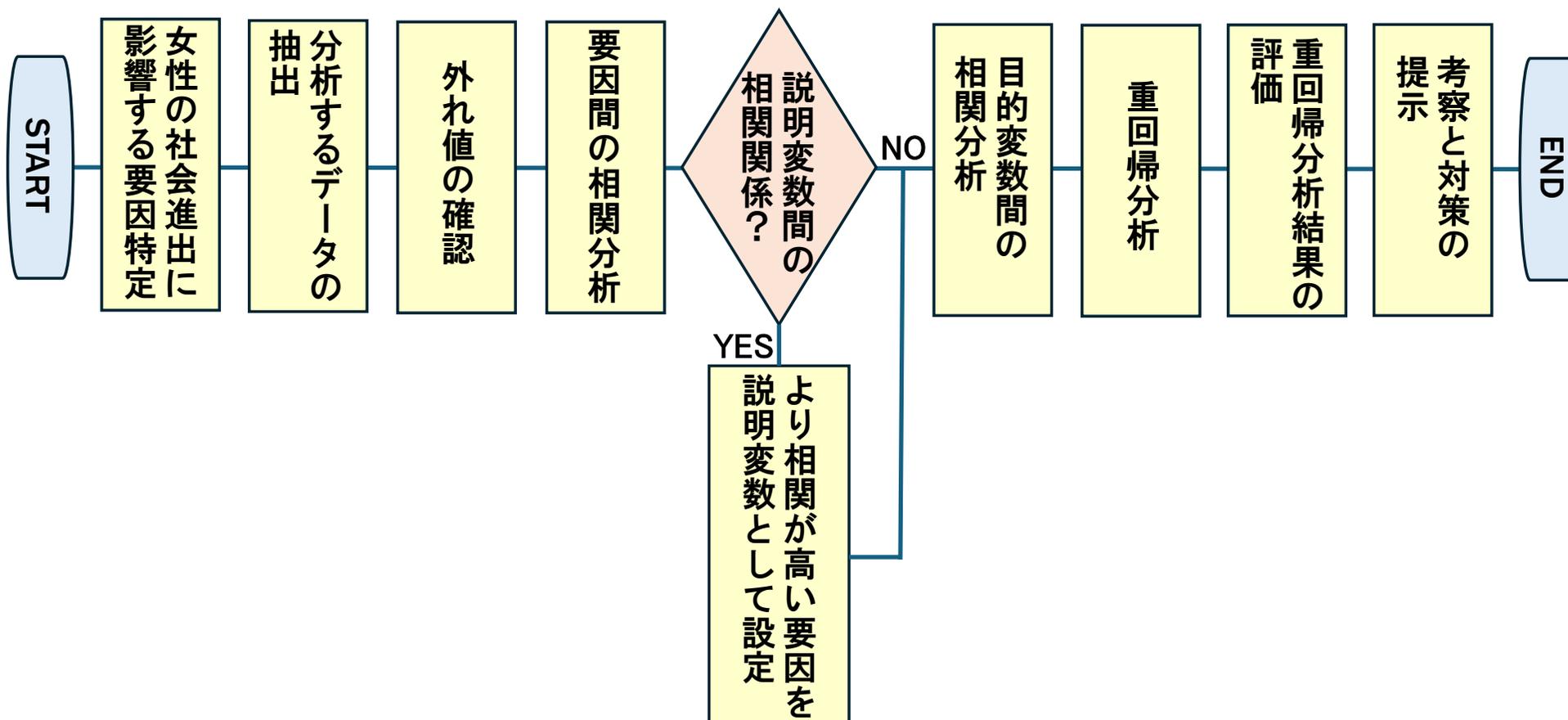
125位/146カ国

1. 研究のテーマと目的 -研究の目的と先行研究-

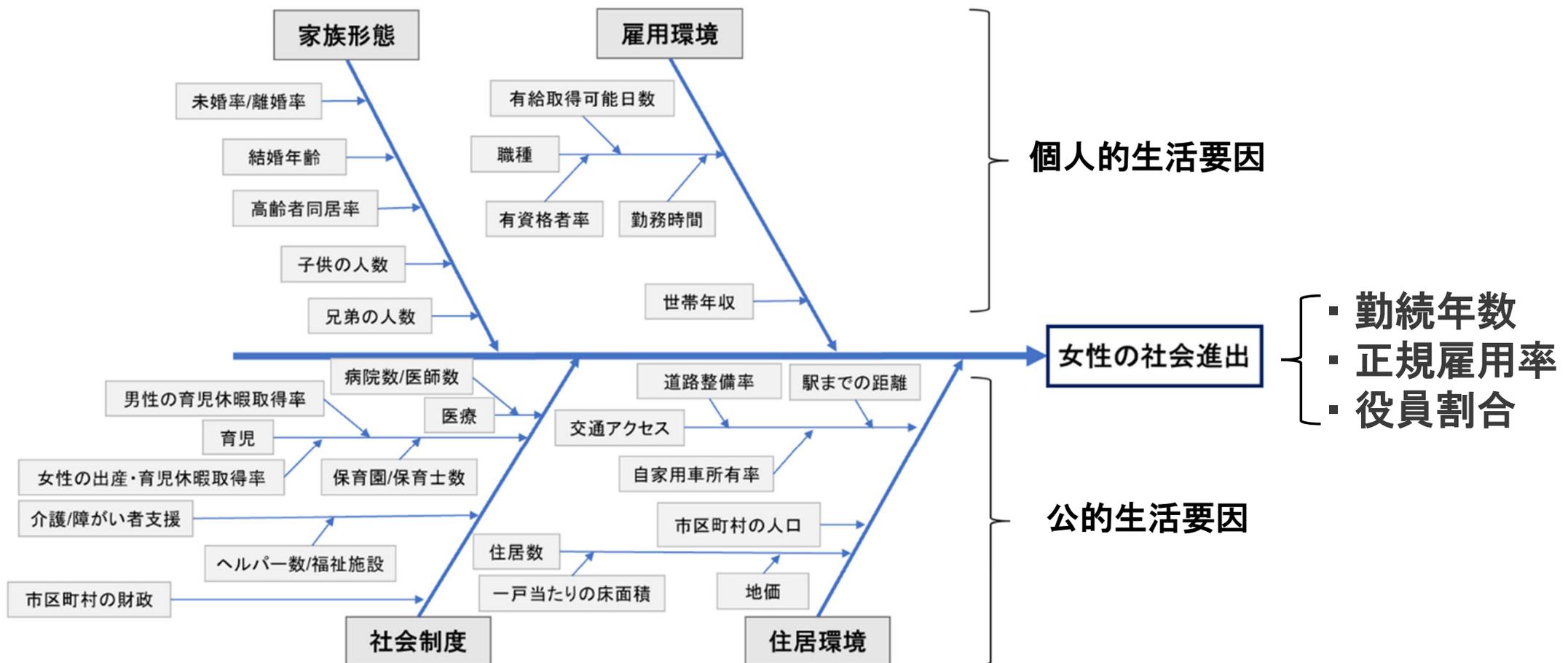
鈴木・鹿間・小坂（2019）

- 「女子大学生の中で、介護負担感が高いもののうち、「パート・派遣」を選択した対象者が社会進出に消極的な見方を示した」
- 「ライフコースとして「正規の職員」を選択した対象者は子育てに関心が高く、「パート・派遣」を選択したものは介護に高い関心を示した」

2. 研究の方法と手順



3. データセットの加工-要因の選定と女性の社会進出の定義-



3. データセットの加工-説明変数の加工-

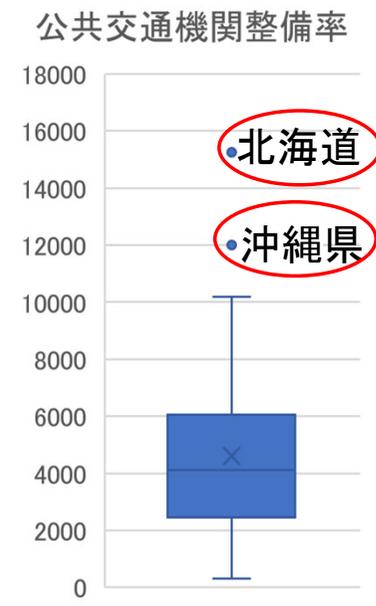
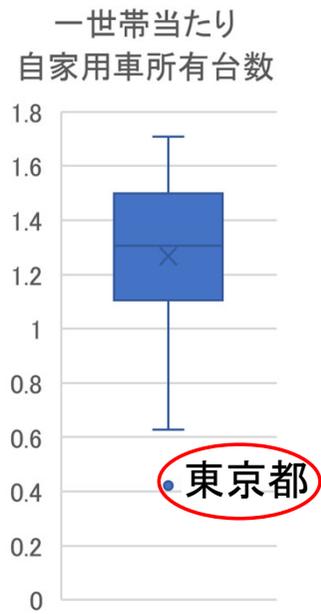
		説明変数	説明変数の加工	出典	年度
個人的生活要因	家族形態	未婚者割合(15歳以上)	$(15\sim 64\text{歳未婚者数})\div(15\sim 64\text{歳人口})$	国勢調査	2020
		離婚率	$(\text{離婚件数})\div(15\sim 64\text{歳人口})$	SSDSE-E-2023	2020
		65歳以上の世帯員のいる核家族世帯割合	$(65\text{歳以上の世帯員のいる核家族世帯数})\div(\text{一般世帯数})$	SSDSE-A-2023	2020
		子供の人数割合	$(15\text{歳未満人口})\div(\text{総人口})$	SSDSE-E-2023	2021
		平均初婚年齢(女)(才)		人口動態統計	2022
	雇用形態	第一次産業就業者割合	$(\text{第一次産業就業者数})\div(\text{就業者数})$	SSDSE-A-2023	2020
		第二次産業就業者割合	$(\text{第二次産業就業者数})\div(\text{就業者数})$	SSDSE-A-2023	2020
		第三次産業就業者割合	$(\text{第三次産業就業者数})\div(\text{就業者数})$	SSDSE-A-2023	2020
		勤務時間(時:分)	$(\text{仕事からの帰宅時間})-(\text{出勤時間})$	SSDSE-D-2023	2021
		世帯年収 800万円以上の割合		通信利用動向調査	2022
公的生活要因	社会制度	一般病院/診療所数	$\text{人口 } 10\text{万人あたり}(\text{一般病院数})+(\text{一般診療所数})$	SSDSE-E-2023	2020
		保育所等数	$15\text{歳未満人口 } 10\text{万人あたり}$	SSDSE-E-2023	2020
		一人当たり都道府県民所得		SSDSE-E-2023	2018
		社会福祉者割合	$(3\text{大福祉士登録者数})\div(\text{総人口})$	社会福祉振興・試験センター	2023
		児童福祉費割合	$(\text{児童福祉費扶助費})\div(\text{民生費扶助費})$	地方財政状況調査	2018
		社会福祉費割合	$(\text{社会福祉費扶助費})\div(\text{民生費扶助費})$	地方財政状況調査	2018
		老人福祉費割合	$(\text{老人福祉費扶助費})\div(\text{民生費扶助費})$	地方財政状況調査	2018
	住居環境	標準価格(平均価格)(住宅地)(円)		SSDSE-B-2023	2020
		都道府県道の実延長(km)	$\text{人口 } 10\text{万人あたり}$	道路統計年報	2018
		公共交通機関整備率	$(\text{新幹線}+\text{電車(私鉄含む)})\div(\text{総面積})$	国土数値情報 DL サービス	2020
	一世帯当たり自家用車所有台数(台)		自動車検査登録情報協会	2021	

3. データセットの加工-目的変数の加工-

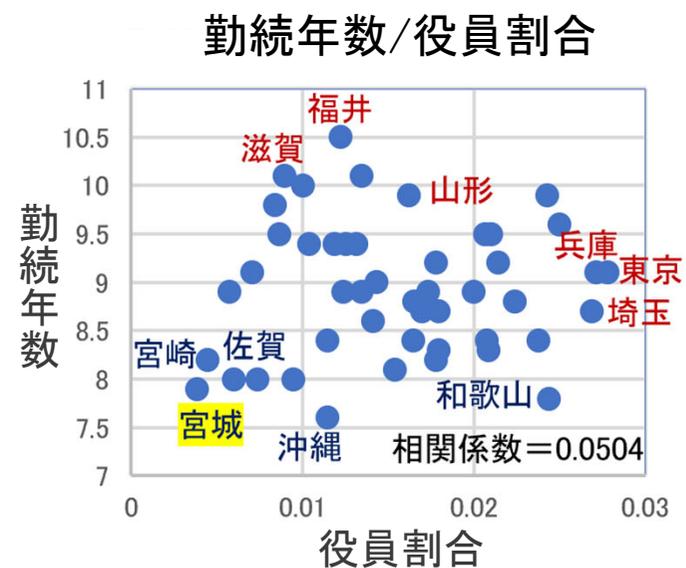
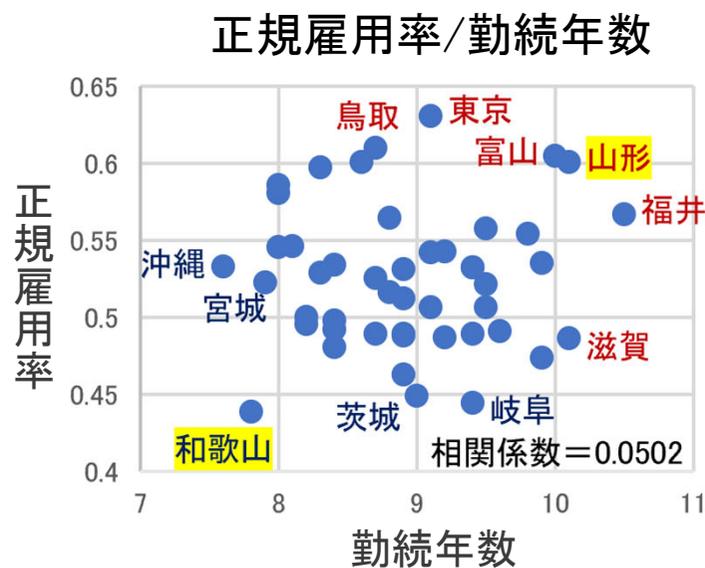
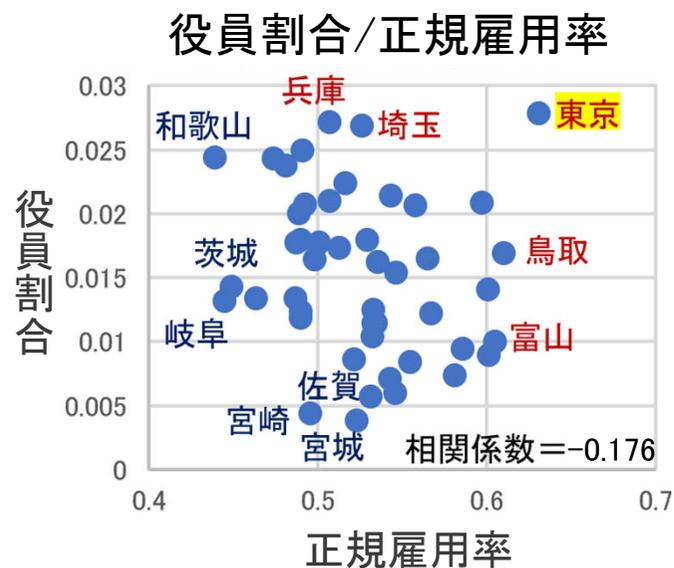
目的変数	目的変数の加工	出典	年度
勤続年数(産業計)(35～39歳)		賃金構造基本調査	2015
正規雇用率(35～39歳)	$(\text{正規雇用者数}) \div (\text{雇用者総数})$	就業構造基本調査	2022
役員割合(35～39歳)	$(\text{会社役員数}) \div (\text{雇用者総数})$	就業構造基本調査	2022

3. データセットの加工-データの加工と外れ値の確認-

外れ値を特定し、外れ値の発生要因について考察した後、除外するか否かを検討した



4. データ分析の結果と考察 -目的変数間の相関分析-



4. データ分析の結果と考察 -説明変数間の重回帰分析①-

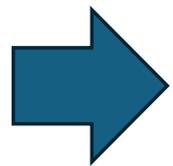
	勤続年数	正規雇用率	役員割合
決定係数 R^2	0.672	0.527	0.153
重相関係数	0.820 →重回帰式は説明力を持つ	0.720 →重回帰式は説明力を持つ	0.391 →重回帰式は説明力を持たない
重回帰式のP値	P = 0.000 →重回帰式は女性の社会進出の 予測に役立つ	P = 0.000 →重回帰式は女性の社会進出の 予測に役立つ	P = 0.339 →重回帰式は女性の社会進出の 予測に役立たない

4. データ分析の結果と考察 -説明変数間の重回帰分析②-

勤続年数			正規雇用率		
説明変数	標準化回帰係数	P値	説明変数	標準化回帰係数	P値
未婚者割合	-.022	.902	離婚率	-.193	.242
離婚率	-.610	.002	65歳以上世帯員のいる核家族割合	-.222	.120
子供の人数割合	.154	.249	平均初婚年齢	.139	.325
第二次産業就業者割合	.095	.574	勤務時間	.008	.954
世帯年収800万円以上の割合	-.394	.045	世帯年収800万円以上の割合	.370	.035
1人当たり都道府県民所得	.302	.056	保育所等数	.602	.000
児童福祉費割合	.115	.496	老人福祉費割合	-.399	.002
社会福祉費割合	.139	.259	役員割合		
老人福祉費割合	.239	.039	説明変数	標準化回帰係数	P値
1世帯当たり自家用車所有台数	.190	.312	65歳以上世帯員のいる核家族割合	.058	.731
			第一次産業就業者割合	-.091	.670
			一般病院/診療所数	.238	.155
			保育所等数	-.160	.348
			児童福祉費割合	-.049	.816
			自家用車所有台数	-.138	.545

5. 考察の総括-個人的生活要因と公的生活要因-

- 個人的生活要因と公的生活要因において、女性の社会進出に関わっている説明変数の数はほぼ同数
- 「世帯年収800万円以上の割合」は捉え方によっては女性の社会進出とは関係のない考察ができる
- 公的生活要因の住居環境はあまり関連がみられない

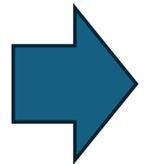


公的生活要因の社会制度が最も女性の社会進出に関係？

5. 考察の総括 -本分析をふまえた提案-

✓子育て支援の拡充

「児童福祉費割合」よりも「保育所等数」の方が
統計学的な意味を持つ値をとった



金銭的な支援よりも**実用的な支援（保育施設や制度）**へ

✓介護支援の拡充

6. 本分析のまとめと課題

- 先行研究の結果を支持する結果もあれば異なる結果もあった
- 住居環境や雇用環境は女性の社会進出に影響を与えない？
➡ 地域や企業として支援するのは経済面や少子化の観点でも重要
- 役員割合の重回帰式の妥当性が極めて低い
➡ 説明変数の選定が甘かった？

今後の研究では、説明変数を絞り込み、分析方法を変えることによって精度の高い統計処理に挑みたい

ご清聴ありがとうございました